

屋内フロア用水性エポキシ床材 濡れたフロアにも施工できフォークリフト対応 約4時間で歩行可能
プライマー不要、水性、無溶剤、無臭 1.5mmまでの厚塗りも可能

概要

KÖSTER KB エポはプライマー不要の水性エポキシエマルジョンで、ハケ又はローラーで手軽に施工できる床材です。
約4時間で歩行可能(23℃)でフォークリフトの荷重にも耐えます。コンクリートのほか、石材、鉄、アスファルトにも強力に接着します。

用途

フロアコーティング

物性

弾性	耐加水分解性	耐 UV 性	通気性	湿った躯体
×	△	△	×	○

*説明

弾性：伸びる性質。特に屋上防水材に必要な物性。

耐加水分解性：水槽等で常時水と接しても劣化しない性質。水勾配のない箇所で使用する防水材にも必要な物性。

耐 UV 性：紫外線に晒されても劣化しない性質。屋外でトップコートなしで使用する場合に必要な物性。

通気性：空気や蒸気を透過させる性質。湿気を多く含む躯体に施工する場合に必要。

湿った躯体：水性の材料は湿った躯体に施工できます。水性でない場合は完全乾燥が必要になります。

使用法

- 1、施工する面の油分、埃、レイトンス、塗装、サビ等接着に影響を与える物質を除去します。
既存のエポキシ床材はショットブラストで撤去し本製品を施工すると綺麗に仕上がりますが、表面を
サンダー等で荒らし撤去せずに施工することもできます。
- 2、施工面に凹凸がある場合はエポキシ樹脂に珪砂を混ぜた樹脂モルタルで下地調整をします。
地下水が上昇するスラブでは剥離やフクレが起こる可能性がありますので、以下の配合の KÖSTER
NB1 スラリーを塗布したのち、樹脂モルタルで下地調整をします。

(配合) NB1 スラリー：25kg SBボンディング：2kg 水：6kg

- 3、本製品の A 成分6.4kgと B 成分1.6kgを混合し十分に攪拌したのち、ローラー、ハケ、吹き付け
などで施工します。剥離やフクレを防ぐため一回あたりの塗布量は 250gを超えないようにし、最低2
回に分けて施工します。塗装面への負荷に応じ最大 1.5kg/m² まで塗布できます。
(標準使用量：300-500g/m²)

KB エポの硬化

本製品の硬化は水の蒸発と化学
反応の組み合わせで起こります。
よって、一度に 250g/m² 以上
塗布すると水の蒸発が不十分にな
り、剥離やフクレが起きやすくな
ります。また、50 分以上を
経過した材料は、粘度が低くて
も化学反応が正しく起きません
のでご注意ください。

データ

色：ペブルグレー (RAL7032)	標準使用量：300 ~ 500g/m ²
ポットライフ：50 分 (20℃)	施工可能温度：材料 15-25℃
歩行可能：12 時間 (12℃)	基材 12-35℃
4 時間 (23℃)	施工可能最大湿度：75%
3 時間 (30℃)	
機械的負荷可能：4 日 (12℃)	
2 日 (20℃)	

成分

ビスフェノール -A- エピクロロヒドリン MW<700、
ビスフェノール -F- エピクロロヒドリン MW<700、水



(上) A 成分6.4kg (下) B 成分1.6kg